

I/N/F/O/R/M/A/T/I/O/N

EVENTS

— 平成18年度T&Bサロン —

●話題

宇部高専の経営情報学科における活動をT&B会員である地域の中小企業へ還元するために、県内中小企業を対象に実施した卒業研究の成果報告するほか、地域教育で実施した経営関係の取組を紹介し、地域における経営学教育を産学協同で実践的に行うきっかけを探っていきます。

●内容

- ・研究成果報告
- ・県内の若年雇用問題とキャリア教育
- ・経営情報学科の地域貢献

●実施日程等

日時：3月2日（金）15：00～（17：00終了予定）

場所：宇部高専地域共同テクノセンター

●参加費

無料

●申込・問合せ先

〒755-8555 山口県宇部市常盤台2-14-1 宇部高専内

経営情報学科 木村弘 TEL 0836-35-4013 E-mail kimura@ube-k.ac.jp

多数の皆様のご参加をお待ちいたしております。

学校便り

- 現代的ニーズ取組支援プログラム（現代GP）
成果報告会

「地域と連携した ものづくり教育」

日時：平成19年3月12日（月）10時から17時

場所：国際ホテル宇部

- 本科卒業式・専攻科修了式
とき 平成19年3月19日（月）



ものづくり工房



T&B微細気泡・気体溶解技術 研究開発発表会

1月15日（月）に宇部高専との共催で「微細気泡・気体溶解技術研究開発発表会」を常盤工業会館で開催しました。

はじめに東京大学大学院工学系研究科の松本洋一郎教授による「マイクロ・ナノバブルの科学—特性とその応用」の特別講演が行われました。

その後、新光産業株式会社の末弘篤氏と有限会社バブルタンクの池田好明氏からそれぞれ新製品の紹介、そして宇部高専の中野陽一先生、原田利男技術職員、また山口大学の羽田野袈裟義先生、今井剛先生から研究成果に関する発表がありました。

発表会にはT&B会員、宇部高専、山口大学教員、学生と県内外の企業等約100名が参加出席し、活発な質疑応答が行われ、成功裏に終了しました。



松本洋一郎教授の特別講演

Report

宇部高専吹奏楽部は、1月21日（日）宇部市文化会館において、第3回定期演奏会を行なった。団員とOBら41人が統一した黒の衣装で演奏した。練習の成果を披露する場として、年1回実施している。プログラムは3部構成で、1部ではクラシック、2部は「トトロ・ファンタジー」、3部は軽快なポップスでステージを繰り広げた。





会員企業紹介 ①

大栄建設株式会社 様

●会社案内●

土木建設、建築建設、設備建設の現業部門と、安全環境部門による有機的な連携により、アクティブな事業展開を図っています。平成13年に取得したISO 9002を足がかりに、環境を見据えたISO 14000の取得、そしてより良い技術を提案するVEリーダーの養成などを通じて、「人と環境を大切に」を合言葉に、皆様から愛される企業を目指します。

●技術紹介●

1. 土木工事

*アート工法/ART-200TE

ライフライン整備における交通の阻害や周辺への影響など、環境問題を克服した工法で、よりスピーディー、かつ確実に立坑・人孔を構築できます。



▲アート式立坑築造工事
(MMホール)

*エンバイナー推進工法

／SH-305・SH-253

騒音や振動のない推進工法。無開削で交通を阻害せず、最小で直径1.5mの立坑からの施工ができるので、住宅密集地や道路幅が狭い場所でも作業が可能です。※ART-200TEとSH-253は、山口県内では、当社だけが導入しています。

*アスファルト共同プラント

「株式会社サルビア アスコン」

大栄建設(株)・新光産業(株)・佐藤道路(株)・日本舗道(株)の4社共同出資企業を設立し、アスファルト合材のリサイクルシステムを備えた共同プラント工場を建設、稼動しています。



▲アスファルト共同プラント
(株)サルビア アスコン

2. 建築工事

*スーパーウォール(SW)工法

木造軸組工法に高性能のSWパネルをプラスした高気密・高断熱・高耐震構造。「天災に強い」「湿気に強い」「メンテナンスが簡単」「冷暖房効率が良く、24時間計画換気で快適かつ健康生活」「騒音や音漏れを防ぐ」などの特長があります。

3. 設備工事

小さな蛇口ひとつから工業用水管、ビルの空調設備まで確かな技術で応え、とっさのトラブルにもすばやく対応できるよう24時間体制をとっています。

阪神淡路大震災・鳥取西部地震の復旧作業にも貢献しました。



▲むべの里 特別養護老人ホーム
およびケアハウス建築工事



▲西岐波中継配水池設置工事

大栄建設株式会社

代表取締役 原田 毅
創業 昭和2年3月1日
資本金 4100万円

〒755-0036
山口県宇部市北琴芝2丁目12番1-2号
TEL(0836)21-8136・FAX(0836)31-3255
URL <http://www.daiei-kensetsu.net>



会員企業紹介 ②

キキーズ デリバリー 酒ハウス KIKKY'S DELIVERY 様

●会社案内●

山口県宇部市内のお酒の店頭販売と配送業務（業務店および家庭への配達）を主に行っています。

価格はもちろんのこと、お客様の「孫の手」になるべく地域密着の酒屋を目指しています。

●事業概要●

- ・全酒類小売
- ・食品販売
- ・たばこ

●店舗●

【本店】

- ・キキーズ上宇部店(有限会社 ハラダ)
宇部市沼3丁目5-22
TEL (0836)33-8451
FAX (0836)33-8452

【支店】

- ・キキーズ厚南店
宇部市厚南区妻崎開作722番地
TEL (0836)44-5030
FAX (0836)44-4363
- ・キキーズ南店
宇部市東見初町526-16
TEL (0836)33-2020
FAX (0836)33-2256



▲キキーズ上宇部店

酒ハウス KIKKY'S DELIVERY

代表取締役 原田 佳和
創 業 昭和33年10月
設 立 平成3年10月 法人化
資本金 300万円

〒755-0085 山口県宇部市沼3丁目5-22
TEL (0836)33-8451
E-mail kikkys@sunny.ocn.ne.jp

行事予定

■ 行事 (内容/場所)

4月3日(木)	本科・専攻科入学式 / 宇部高専第2体育館
4月4日(金)	始業式 / 宇部高専第2体育館
5月23日(金)	宇部高専T&B総会 / 国際ホテル宇部



会員企業紹介

株式会社伊東工作所 様

— スクリューコンベヤー及びミキサーの
メーカーとしての豊富な実績と斬新な技術力 —

株式会社伊東工作所
代表取締役社長 伊東 信行

〒755-0023
山口県宇部市恩田町1丁目1番12号
電話 0836-31-4151
FAX 0836-22-0502
URL <http://www6.ocn.ne.jp/~imw/>
E-mailアドレス imw@crux.ocn.ne.jp

資本金 2,000万円
従業員数 31名
設立年月 昭和22年1月

主要製品

各種スクリューコンベヤー、リボンブレンダー、ドラムスクリュー、パドルミキサー、加湿機、加熱機、乾燥機、密閉式高効率冷却装置各種バケット、その他周辺付属機器、各種据付・メンテナンス

組立可能範囲

螺旋羽根の製造技術は、板厚300mm、径3,000mm位までの形状・サイズのもの加工可能



輸送物・用途に応じて実験、試作を含めた一からの設計・製作が可能

■事務局（広報担当）からのお知らせ

T&Bレターの原稿を募集しています。会員企業様のニュースや各種募集案内・PRなどを事務局（広報担当）までお知らせください。皆様からの御投稿をお待ちいたしております。

広報担当 内田 E-mail uchida@ube-k.ac.jp

Hello! Teacher

研究室
訪問

第6回

「日本の豊かな水環境を取り戻す！」

物質工学科 助教授 中野陽一氏 [なかの・よういち]

★★Profile★★

名前：中野陽一（なかのよういち）

略歴：

昭和44年8月4日 誕生
 平成2年3月 宇部工業高等専門学校
 工業化学科卒業
 平成5年3月 三重大学工学部
 資源科学科卒業
 平成12年4月 広島大学大学院工学研究科
 博士課程後期単位取得退学
 平成12年5月～平成18年3月
 広島大学大学院工学研究科、環境安全
 センター助手（併任）
 平成18年4月 宇部工業高等専門学校
 物質工学科 助教授
 平成16年11月 博士（工学）広島大学取得

自己紹介

授業では

物質工学科に所属し、化学工学、環境工学系の授業を担当しています。本格的な授業は経験不足なので、今後も修練を積んでいきます。体と同じく大きな声で、出来るだけわかりやすく教えていくことを心情に授業作りに務めています。また、宇部高専OBとして、宇部高専生へのアドバイスが出来ればと思っています。

目標は

私は、日本の豊かな水環境を取り戻すことを目標として、水環境の浄化技術の開発に取り組んでいます。

現在では、瀬戸内海で失われつつある干潟とアマモ場の人工造成に関する研究とマイクロバブル技術を用いた水処理技術、オゾンを用いた水処理技術の開発を主に研究を行なっています。研究室の特色として、干潟、アマモ場の研究では毎月広島県に行き、学生と共に泥まみれでサンプリングを行い、アマモ場の研究ではスクーバダイビングを行なって調査を実施しています。また、マイクロバブル、気体溶解技術の研究開発では、地元企業様、山口大学様と共同で行なっています。



右から2番目が中野先生

今後は

環境工学は多分野の知恵の集積、ご協力が必要です。地元の企業様、出身母体の広島大学、山口大学の環境系研究室に、ご支援を頂いて研究開発を行っていますが、今後益々皆様のご協力を頂いて、宇部発の環境技術を開発できればと考えています。もし、可能ならば常盤湖の水質浄化を行ないながら、浄化技術の開発、地域連携、環境教育を実施できるようにがんばりたいと思います。

研究室には多くの方々が訪問していただいています。ご見学、ご相談などがありましたらお気軽にお越し下さい。

詳しくは中野先生まで
 tel & fax 0836-35-5498
 e-mail ynakano@ube-k.ac.jp

■編集後記

微細気泡・気体溶解技術研究開発発表会では多くの皆様の御参加を得て、交流会も大いに盛り上がりました。これを機にビジネスの輪が広がることを切望しています。

(Y. U.)